

## 地域おこし協力隊だより

「滝上の秋」

観光協会勤務

浦野 陽平

皆さんこんにちは。今月号を担当させて頂きます浦野です。

滝上町に来て2度目の秋が来ました。やっぱり錦仙峡の紅葉は綺麗ですね。

スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋と言われますが、その中で話題にしたいのが食欲の秋です。道の駅では、友好交流町の高知県越知町の新高梨(にいたかなし)を10月7日の秋歩こう錦仙峡のイベントで限定販売しました。

新高梨という名称は当時、新潟県の品種と高知県の品種の掛け合わせであることから、その両県の頭文字を組み合わせて『新高』と名付けられたそうです。

特徴としては、まずその大きいです。800gから15kgにも達し、小さいものでもソフトボールほどの大き

さがあります。果肉は白く多汁で柔らかく、糖度は12度以上になり、酸味が少ないので甘く感じます。新高梨は非常に日持ちが良い梨で、ぴったりとラップで包み冷蔵庫に保存すれば1ヵ月ぐらい持つようです。1玉950円と価格的には少し高額ではありましたが、皆さんから好評いただき完売することが出来ました。来年も販売できればと思います。

また1月から2月頃に旬を迎える土佐文巨も販売する予定となっております。こちらも越知町の特産品で、皮に少し厚みがありますが、果肉がしつかりとしまっており、さわやかな甘み特徴です。販売の際は食べてみてください。他にも滝上町の新商品も販売していければと思います。

道の駅『香りの里たきのうえ』では、商工会の商品券に加え、10月に販売したプレミアム商品券も使用出来るようになりましたので、ぜひ、道の駅『香りの里た

きのうえ』へお立ち寄りの際は買ってみてください。今後も協力隊活動として、道の駅での地域貢献に限らず、越知町の商品を販売することでも、さらなる友好交流にも貢献できればと思います。ぜひご期待ください。



▲「新高梨」

### ▼問い合わせ先

まちづくり推進課

☎29-2111(内254)

## 第38回「租税用語競書展」が開催されました

租税用語競書展が、「税を考える週間」に合わせ11月11日(土)から11月17日(金)までの間、文化センターで開催されました。

これは、町内の児童生徒に対する租税教育を推進している滝上町租税教育推進懇話会(眞貝眞佐喜会長)が、町内の小中学校の協力を得て開催しているものです。

町は、私たちが健康で豊かな生活を送るために、いろいろな仕事をしています。これに要する費用のほとんどは税金によって賄われています。次の世代を担う児童生徒の皆さんが、広く私たちの暮らしの中で役立っている「税」に対する関心を持ち、理解を得ることを目的として「税に関する用語」の書道作品を募集しました。

競書展には、小学4年生12名、同5年生13名、同6年生19名、中学1年生10名の総数54名の応募がありました。入選者は次のとおりです。

### 小学4年生の部

金賞 高山 創多 濁川小  
銀賞 住吉 成美 滝上小  
銅賞 小山内未空 滝上小

### 小学6年生の部

金賞 張間 琴乃 滝上小  
銀賞 緑川 聖良 滝上小  
銅賞 千頭 果鈴 滝上小

### 小学5年生の部

金賞 森本あおい 滝上小  
銀賞 関町 凧 濁川小  
銅賞 藤村 葉月 滝上小

### 中学1年生の部

金賞 村上 涼音 滝上中  
銀賞 榎本 類 滝上中  
銅賞 原田 峻汰 滝上中

